

第4回 徳島市新ホール建設候補地検討会議 会議録 概要

日 時 平成29年5月11日(木) 午前10時～午前11時7分
場 所 ホテル千秋閣 7階 鳳の間
出席者 18名(委員7名、事務局ほか)
傍聴者 18名

1 開会

2 資料1の説明

3 議事

(1) 建設候補地の検討について

資料2 新ホール建設候補地選定についての意見書(案)

会長：

資料の説明について、確認事項や質問事項はあるか。

参考資料については、私の方で委員の皆さんのご意見を踏まえて○△を付けている。▲は一か所しか付いていないが、かなり問題だろうと思われる点である。これをベースにいただいた意見を整理し、意見書案を取りまとめている。まずやってもらいたいのは、不確定要素を除去するというところで取りまとめている。

A委員：

意見書案の構成において、候補地の順番がこれまでの資料の順番と違うが、何か理由があるのか。

会長：

意見書案をまとめるのに、一番悩ましかったのが駅西であった。まとめの文書として最後に述べた方がよいと思ったというのが理由である。あとの候補地については、皆さんの意見がよく整理されていると思う。

B委員：

意見書案の中に、現時点での不確定要素という表現が度々出てくるが、今日現在で不確定要素はどれだけあるのか。いつ頃までに調査結果が出てくるのか。タイムスケジュールが必要だ。

事務局：

不確定要素を踏まえたスケジュールだが、候補地が選定された後に、できるだけ早急に不確定な部分を解決するよう候補地の関係各位と早急に協議を始める必要があると考えている。スケジュールについては十分検討していきたい。

会長：

一番不確定要素が高いのが駅西であり、文化センター敷地にはそれほど不確定要素はない。旧動物園跡地は都市計画法上の規制をどうするかということだが、手続きは決まっているが、時間がどれだけかかるか分からないし、反対意見等が出てきたときにどうなるのか、社会的なリスクなのですぐには分からない。

駅西について懸念されているのは、建設費と用地取得等の協議がスムーズに行くのか、不確定要素で費用と時間がどれだけかかるのかが分からないということであると思う。妥当な建設費で収まるのか、我々が思うスケジュールで用地取得等ができるのかを確認してほしいという意味を込めてこの文章を書いた。我々として期

限を付けるとすると「平成35年開館は死守してください。その上でスケジュールを組んでください。」という文章を意見書に附帯することになる。

C委員：

平成35年開館は死守してほしい。大ホール、小ホール、創造支援ゾーンが一度にできれば一番良いが、全部できなければ一つも動かないということであれば、時間がかかってしまう。例えば、創造支援ゾーンについては、シビックセンターにも機能があるので、同時に整備できるのがベストではあるが、段階的に整備を考えていくことも必要だ。

駅西については、街の活性化、市街地活性化を含めて再開発的な要素を取り入れてはどうかということだが、それと同じように旧動物園跡地についても、徳島駅からの徒歩ルートとして、中央公園の整備など市民の憩いの場の整備も考えてみてもよいのでは。文化センター敷地についても中央公園と一体化した整備も考えられるのではないか。

中央公園が少し寂しい感じがあるので、もっと活用を考えてはどうか。商業施設や市街地活性化だけでなくそういうことも考えてほしい。そうすればメリットも出てくるし市民にもプラスになるのではないか。

本当にここで聴きたい、ここで観たい、ここで演奏したいと思えるホールを造ることを大前提に進めてほしい。是非お願いしたい。

副会長：

意見書案をじっくり読んでいただくと、駅西に関しては土地所有者との交渉も必要であり不確定要素も多いが、もし駅西が選ばれるのであれば、そこに対する期待感が非常に大きいという感じが読み取れる文章になっていると思う。

前回の会議でも、不確定要素はあるが駅西は面白いという意見が多数あった。文章はこういう形になっているが、個人的にはもう少し踏み込んで、委員の意見としては、「駅西に対する期待感が非常に強かった。」「優先的に交渉を進めてほしい。」というような意見を入れた方が、主旨がわかりやすいのではないかと思う。

また、今回は場所についての検討なので意見書には入れないが、1,500席ありきではなく、できれば1,800席以上のものを造ったとき、それが設計上可能なか、コストはどれくらいになるのかを含めて検討していただきたいというのが個人的な意見だ。

会長：

意見書案の最後のところについてはいろいろ考えたが、駅西に対する期待感が書かれている。期待感が大きい、不確定要素を早急に詰めていただきたいのは駅西だ。

まず駅西について不確定要素を詰めた上で、決断すべきではないかというイメージでこの文章を書いた。ただし、そこまで限定するかということについては悩ましかったので、ほかの要素を含めて限定せずに幅広く不確定要素を詰めるという書き方にした。

A委員：

委員としては、このような平等な書き方で、それぞれ問題ないように出して、あとは市や市長が決めたことで委員には責任がない、というのが一番気楽でよいが、会の主旨からいってそれで本当によいのか。

ある程度「こういう意見が多かった。」とか、「全体のイメージではこういう意見が多数を占めた。」とかを意見書に書いておかないと会の存在意義がないのでは。

D委員：

個人的には中心市街地から言えば駅西、徳島の川を絡めるなら旧動物園跡地だが、旧動物園跡地は駅からちょっと遠いので、中心市街地に引っ掛けるのであればどうかと思う。

駅西はポップ街も含めて民間の力も借りて整備しないと埋もれてしまうのでないか。ホールを建てても、利用することを考えなければ意味がなく、人が集まるような施設を建てないと、どこに建てても同じと思う。方向性をひとつに持っていくことは、私は賛成できない。

B委員：

気になることは、もし旧動物園跡地や文化センター敷地になるとすれば、何かプラスアルファになる付加価値を付けた方が良いと思う。必要だから造るだけではもの足りなくさびしい。

徳島市には新しいイメージが必要であり、全国的に取り上げられることで市民のモチベーションは上がる。そういう意味では駅西は面白い。どこに造るとしても付加価値を付けた図が描けると面白い。

副会長：

委員全員一致した意見はなかなか書きづらいので、「駅西に対する期待感を表明する声が多かった」あるいは「優先的に交渉を進めて早急に妥当性を検討すべきだ」という声が多かった」という書き方になるのではないか。

会長：

プロセスとして、まず不確定要素を固めるため駅西。それが上手くいかなければ、旧動物園跡地と文化センター敷地のいずれかで、そこにどのような付加価値を付けるのか。旧動物園跡地ならば、手続きにどれだけのリスクが生じるのかを検討する、そのような手順にならざるを得ない。今、我々委員が判断できるのは手順についてである。

E委員：

周囲の人から色々な意見を聞いており、この検討はとても難しいと思っている。意見書には、この候補地は付加価値を付けてこのようにすればよい、こんなデメリットがある、など濃淡を付けた書き方にしてはどうか。

また、個人的な意見を言うと、駅西の施設配置イメージでは、駅前にホールの裏側が面するが、ホール正面を駅側に向けることができるのかが重要な判断基準だと思っている。駅西にホールを造るなら、車社会の徳島であるが、鉄道、バス等交通機関の利用をアピールすることも加わっていると思う。その意味では、ホール正面が駅側に向くかどうか重要である。最新の設計で見た目も上手く作れると思うが、景観や駐車場の配置の問題もある。

会長：

立体駐車場を移動して、ホールを駅寄りに造るプランもあり得るとは思う。

E委員：

J R 四国が立体駐車場を手放してくれればありがたいが、意見書にはそこまでは書けない。

会長：

その意味も含めて、官民連携というキーワードを入れた。J R のプロジェクトとして考えてくれば、駅ビルとどう繋ぐか、駐車場をどうするかも考えられるのではないか。ホテルやポップ街などの「民」と連携できる可能性のあるプロジェクトになるのではと考えている。

会長：

いくつか整理すると、ひとつは最後のページ「終わりに」の3段落目、これは駅西に関わらず、新ホールへの期待の文章である。この内容を確認する上で、駅西に対する期待の意見が多かったということを明確に書いた方がよいという意見が複数あった。

その下の検討項目であるが、駅西についてはまず進めてみるという意味で、決定ではないということはどう書くかが課題である。

また、先の提言書に基づく「市民のホールとしての1, 200席」あるいは「県のホールとしての1, 800席」、これらを想定して検討してほしいという意見があった。

次に、駅西以外の候補地の場合は、プラスアルファのバリューが必要であることを加える方がいいという意見があった。これは、駅西が上手くいかなかった場合のことを考えてである。旧動物園跡地なら、中央公園を活用し、アクセス路を楽しくする。文化センター敷地は、他の公共施設が周りにある場所なので、そこと連携することも期待できると考えている。

次に、駅西について、一気に建てるというプランもあるが、段階的な整備も考えられる、という意見があった。緊急を要しているのは大ホールであるが、ホールとしての完成形、将来の子どもたちに渡すべきものはきちんと揃ったものにしてほしい。これは3つの候補地全てに当てはまり、特に駅西と文化センター敷地では考慮しないといけない。

以上が委員みなさんの意見であるが、他に意見はないか。

C委員：

5ページの最後に書いている「その判断結果を、わかりやすく市民に説明されることを希望します」であるが、旧動物園跡地は、何十年も前から候補地に挙げていたが、新町西の再開発が持ち上がったときに、ホール建設が新町西に移り、旧動物園跡地はどうなったのかというイメージが非常に強い。もう旧動物園跡地にはホールは建たないのだと思っていたところに、今回再び候補地になったので、どのような理由でこの結果になったという経緯を市民に分かりやすく説明する必要がある。

会長：

意見のとおり、候補地を決めたら、残る2つの候補地について、将来像、まちづくりのビジョンを考えることが必要である。具体的に何をするとはい意見書に書けないかもしれないが、将来ビジョンの検討を説明に加えることは重要である。残る2つの候補地の活用を含めたまちづくりのビジョンを検討してほしい、というキーワードは必要だと思う。

会長：

いくつか意見を整理したが、市として確認をすることはないか。

事務局：

(意見なし)

会長：

まず進めてほしいプロセスは、駅西の不確定要素を早急に固めてほしい。ただし、他の候補地を除外するのではなく、その不確定要素が解決可能かを平行して検討してほしい。その意味は、駅西にかかる期待が大きい、という委員の意見が多かったということである。その主旨でよいか。

委員：

(異議なし)

会長：

主旨は今のよう、文言については早急に検討し、事前に委員に確認する。参考資料については、今確認した主旨をもとに、それぞれの説明は意図がきちんと伝わるものになっているか、確認をお願いしたい。参考資料について意見はないか。

委員：

(異議なし)

会長：

いくつか、自分の主旨で文言を変えたところがある。

1 ページ目の「周辺環境への影響」で、旧動物園跡地は△になっているが、特に渋滞に対する対応である。送迎車がどれだけ来るか、あるいは駐車がどれだけあるか、これはどんな施設を造るかで相当違いがある。

自分の専門である交通計画の立場から見ると、交差点処理能力が非常に弱いの、旧動物園跡地が一番難しいと思っている。

駅はいつも車で混雑しているので、駅西にホールができれば大変なことになると思っている人もいるが、実は、もともと交差点処理能力が高いところである。しかも、相当な台数を捌いているので、たとえ1,000台が追加されても、大した問題ではない。駐車待ちがないように駐車場を分散できれば大丈夫ではないかという視点で書き直した。

文化センター敷地は、送迎待ちが大変だという意見があったが、駅と比べると人が待つ場所がなく、送迎車の滞在場所もない。駅は色々なところで待つことができる。

その他の項目については、前回までの意見を踏まえて評価を付けた。ひとつだけ▲の評価なのは、旧動物園跡地の都市計画上の規制緩和である。自分は、この規制緩和は想定できないため、▲を付けた。その他の規制緩和については、特に異論を唱える委員はいなかった。確かに規制されてはいるが、その緩和は難しいものではないと判断した。今のことについて、何か意見はないか。

委員：

(なし)

会長：

今後は、今のまとめのとおり進めていく。もっとゆっくりと練る時間があればいいが、来週には完成させなければいけない厳しいスケジュールである。事務局と協議し、市長との話し合いまでには、委員のみなさんに確認いただけるようにする。次回は、この会議に市長を加えて話をしながら、委員のみなさんの意見をいただく場を作る予定である。

(2) その他

会長：

その他について何かあるか。

委員：

(なし)

会長：

議題はすべて終了した、事務局にお返りする。今後の方針については、改めて事務局より説明をお願いする。

事務局：

第4回徳島市新ホール建設候補地検討会議を終了する。